

留学レポート No.3 2007/ 9/26 泌尿器科 畠山真吾

早いもので1年が経ちました。はじめの3ヶ月は不慣れな環境と言葉のストレスで、「生きていくのがやっと」だったのに、あっという間に半年が過ぎ、気づいたら1年経ってしまいました。早い……。しかし慣れた、というのは決して「英語ペラペラ」なわけではなく、単に「通じない英語でもしゃべりまくる度胸がついた」ということだけなので……。残念ながら。渡米前は行けば喋れるようになるんじゃないかな？と安に思っていたのですが実際はそんな簡単な事ではありませんでした。何とか会話は出来ませんが簡単な単語での必要最低限の事務的会話がメイン……。結局最後は単語力の無さだな、と痛感します。高校時代に蓄積した英単語の知識は単に受験用の暗記ですっかり忘却の彼方にあり、いまさらまた覚える気もしないし、英語は下手くそなままでございます。

さて、仕事ですが、3つのテーマ(精子、前立腺癌、抗がん剤)で研究しています。どれも手ごわいテーマでかなり苦戦していますが、やっと1つ、仕事がまとまりそうになってきました。しかしここからが正念場なのでしっかり踏ん張って論文にしたいと思います。



では、最近の出来事をまとめてみました。

<AUA2007 2007/5/19-24>

今年のアメリカ泌尿器科学会はロサンゼルスのアナハイムで行われました。私も久しぶりに臨床の臭いに触れ、懐かし恋しい気分させられました。この学会は演題の審査が厳しくなかなか通らないのですが、当科の盛先生の演題がハイライトに選ばれるなど実りの多い学会でした。私の演題は敢無く落選してしまいましたが、来年こそは！と闘志を燃やしております。研究所にも足を運び、活発に研究の Discussion を行いました。その後、皆でサンディエゴの行き着けの寿司屋さん(Sushi Kiyo's)でおいしいカルフォルニアロールなどなど平らげました。



<Del Mar Fair 2007/07/04 Independence Day>

独立記念日はアメリカでは大きなお祭りです。この日から夏休みモードに入ることもあり、国中浮かれ気分。近くの競馬場に仮設遊園地が登場し、さまざまなアトラクションが子供たちを楽しませてくれます。メリーゴーランドや観覧車などなど、こんなのも運ぶのかよ？と思うくらいいろいろあります。ラボのメンバーと一緒に楽しむことができました。

<間違っ Mexico、ああ悲惨 2007/07/21>

高校の友人が San Diego に学会ついでに遊びに来ました。住んでいるくせにあんまり San Diego のこと知らないけれど、一応あれこれ案内しながら一緒に観光しました。メキシコ国境にあるアウトレットモールに買い物に行こう、と出発したのですが、道を間違え、なんとメキシコに入国。しかも、俺だけパスポート忘れていた……、ガーン！帰れないかも……。しかも入国待ちの車の列……。3時間待ちました。その間、陽気なメキシコ人があれ買え、これ買え、としきりに車の脇を歩いていきます。記念に、と言いつつ\$25のひどいギターを\$10に値切って買いました。友人はプロレスのマスク(誰のマスクかは不明)を買っていました。友人はメキシコ入国に大感激でしたが、私は超ブルー。入国できない場合、私だけ車から降りて、家からパスポートを持ってきてもらい、入国という最悪のシナリオを想定しつつ、免許証(つまり ID)を出したら、さらっと帰国できました。なんだ、心配して損した、とほっと胸をなでおろしましたが、やっぱり相当ラッキーだった様で、皆から「運が良かったね」と言われました。ま、運も実力の

内、旅の思い出＝プライスレス、ってことで……。



<妻とケーキ>

アメリカに来て、妻の不平は色々ありますが、その1つはスイーツが美味しくない、ということ。たしかに甘すぎるし、アメリカ人味覚おかしいよ?と思う甘系がスーパーにはズラリ。高い店のは美味しいけれど家賃貧乏・節約生活の身にはちと手が出ない。結論;自分で作るしかない、となったようです。パン粉が違ったり、ケーキ型がアメリカンサイズだったり、いろいろ苦労していたようでしたが、最近ではアップルパイやアンパン、メロンゼリー、パンプキンケーキなどなど、これ店を出せるんじゃない?というレベルにまで到達しております。普段の食事もそうですが日本にいる時よりおいしいんじゃない?と最近思う今日この頃。アメリカ生活では、妻の作る和食が本当に重要で日々の活力になっています。本当に感謝です。



と、いった感じでアメリカ生活を送っております。皆のサポートに心から感謝しつつ、ついでに真っ黒に日焼け(できるのか???)して帰りますので、後1年、よろしく願いいたします。ではまた。

2007/09/26 畠山真吾